



平成 22 年 3 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 クリムゾン
(JASDAQ・コード番号：2776)
代表者名 代表取締役社長 茂木眞一
問合せ先 取締役副社長 中川純夫
電 話 03-5637-0505

特別損失及び法人税等還付税額の計上ならびに
平成 22 年 1 月期 通期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 1 月期(平成 21 年 2 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日)第 4 四半期(平成 21 年 11 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日)におきまして、特別損失を計上する見込みとなり、また、法人税等の還付がございましたので、その概要をお知らせするとともに平成 21 年 11 月 27 日付「平成 22 年 1 月期 通期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ」にて公表しました業績予想(非連結)を下記の通り修正いたします。

記

1. 特別損失の内容及びその金額について

当社では従来よりコスト構造改革、財務内容の健全化を図る観点から、当期におきまして不採算店舗の随時閉鎖を実施してまいりましたが、来期以降収益の見込みを考慮し 31 店舗の追加閉鎖を決定したことを受け、固定資産減損損失 189 百万円、店舗閉鎖に伴う中途解約費用として 150 百万円、原状回復費用として 110 百万円を計上しました。

また、非連結子会社であります、Crymson USA INC. の業績不振により純資産額が減少したため、関係会社株式評価損として 58 百万円を計上しました。

【特別損失内訳】

減損損失	189 百万円
店舗等解約違約費用	150 百万円
原状回復費用	110 百万円
関係会社株式評価損	58 百万円
合 計	509 百万円

2. 法人税等還付税額の内容及びその金額について

弊社は平成 19 年 10 月 2 日付「業績に影響を与える事象の発生について」にて開示いたしましたとおり、過年度に在庫評価額を過大計上しておりました。今般、東京国税局の調査を受け、過大計上分の利益を減額更正された事により、法人税還付があり、90 百万円計上しました。

3. 業績予想の修正について

平成 22 年 1 月期業績予想(非連結)(平成 21 年 2 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,645	△500	△535	△490	—
今回修正予想 (B)	7,415	△540	△514	△889	円 銭 △36,877.94
増減額 (B-A)	△230	△40	21	△399	—
増減率	△3.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 1 月期)	11,103	387	381	124	2,968.20

4. 業績予想修正の理由について

売上高につきましては販売単価の下落により若干減少したものの、概ね予想通りに推移いたしました。また、営業利益につきましては、売上高減少の影響を受け、減少いたしました。経常利益につきましては営業利益減少の影響を受けたものの、海外からの仕入債務等の支払いに際し、為替相場の影響により為替差益が 40 百万円発生したこと等により 21 百万円増加し、△514 百万円となりました。しかしながら当期純利益につきましては、「1. 特別損失の内容及びその金額について」で、ご説明させて頂きました通り、店舗閉鎖における減損損失 189 百万円、店舗等解約違約費用 150 百万円、原状回復費用 110 百万円、その他として関係会社株式評価損 58 百万円の計上により、また「2. 法人税等還付税額の内容及びその金額について」で、ご説明させて頂きました通り、過年度申告所得金額等の更正による法人税の還付金 90 百万円の計上があったものの、前回発表いたしました修正予想を下回ることとなりました。

以上